

THE BIBLE STUDY

ダニエル書 12章

近所の本屋さんの宗教コーナーを見てみてください。「聖書」は置いてありますか？

あなたは終わるまで歩み、休みに入れ。

あなたは時の終わりに、あなたの割り当ての地に立つ。(ダニエル12:13)

12章1節に書かれているのは終わりの日です。やがて、歴史・時間が終わる日が来ます。そして、それは新しい世界と永遠の始まりなのです。

と、その前に、神様に敵対する勢力の登場です。父子、御霊の「聖なる三位一体」率いる軍勢が、サタン、反キリスト、にせ預言者の「汚れた三位一体」率いる悪霊、人間たちと戦うのです。まず第一の天使、ミカエルが立ち上がります。黙示録にも同じ預言があります。ミカエルと彼の使いたちがサタンを天へと地上に投げ落とします。



投げ落とされたサタンはどうか？彼は、自分に残された時間が刻一刻と短くなっているのに気づき、怒り狂ってイスラエル民族とキリスト教会を迫害するのです。「大難難時代」と呼ばれる、かつてなかったほどの、ノアの洪水よりも残酷な苦難の日々が訪れます。サタンがその怒りを「救い主」を生んだイスラエルとキリスト者に向。しかし、ご安心を。いのちの書に名の記されている人はすべて救われます。ところが、神様の勝利がはっきりわかるような時代になっても、なお、惑わされる者、信仰を失う者が起きてくるのです。12章4節には、聖書以外に助けを「探し回」る人の姿が書かれていますね。

本屋さん「聖書が30分でわかる」など、HOW TOものものはあふれています。もちろん悪くはありませんが、でも「聖書」自体を置いている書店が少ないのを知っていますか？終わりの日、「聖書」そのものに救いの答えが載っているのに、多くの方は、それにアクセスできないのです。

結果、10節「悪者は悪をますます行う」ようになっていきます。



THE BIBLE STUDY

しかし、13節を見てみましょう。神様はあなたに、
「終わりまで、『歩』め」とおっしゃるのです。キリスト
信仰は（使徒の働きによくありますが）「この道」と呼ば
れるもの。立ち止まらずに歩き続けることが信仰です。

立ち止まりたくなる日があるでしょう。座り込んだり、
ひきこもったりしたくなる時だって。教会に来れない、と
いう気持ちに悩むことだって。でも、信仰生活は、変わり
続ける景色を楽しむことなんです。変化し続けることなん
ですよ。それは、成長し、増し加わっていくことです。

聖書の知識を増し加えること。主の知恵を。聖霊の経験
を。祈りの生活を。聖くなった嬉しさを。謙遜やいさぎよ
さを。ますます、増し加えること。

歩き続ける、とはそういうことです。振り返って、「お
お。ずいぶん歩いたな」は約束の地、割当の地で言うこと
です。

約束の地では、苦勞する、努力する、迫害にあう、なん
てことはないんですから。それはこの生涯の中でだけでき
ること。死に至るまで忠実であり続けましょう。

信仰のことで悪口を言われ、悲しいのですか？それは天
国に行ってしまうとは味わえない体験です。主のために汗
をかいたのに認められないのですか？その汗は天国ではか
けない、貴重なものですよ。礼拝に来る2時間を裂くのが
難しかった？そんな苦勞も、今、この地上でしかできない
ことなんです。二度とない体験をしていると思って、この
信仰生活を楽しんでやろうではありませんか！

知るう： この世界は美しく楽しいですが、罪の影響を受け、呪われており、より
美しく、楽しい、完璧な世界に変わる日が来ます。

なるう： 目を覚まして、ノンクリスチャンのために祈る人になりましょう。

実行しよう： ヨハネの黙示録を読んでみましょう。あきらめないで 笑

覚えよう： 彼らの目の涙をすっかりぬぐい取ってください。もはや死もなく、悲
しみ、叫び、苦しみもない。なぜなら、以前のものが、もはや過ぎ去ったからで
ある。（黙示録21:4）

